

「理想人間像」

現世の人間とは別次元の存在

← 虚像 || 強烈な自己欺瞞

← 相対を越える価値を置かぬ限り、人間の生の無意味・無目的なことが明白なってしまう。
エゴイズムが剥き出しの弱肉強食の世界のみ。

「神に型とれる人間の概念の探究」とは
「理想人間像の探究」と同義か。

近代日本の場合

神・理想人間像の欠如による近代化適応異常と
脱する。処方箋は恒存か？ いかん提示されたか。

昭和五十年頃か、講演で日本人も絶対者はあつたのでは無いかと発言。同講演でキリスト教徒の後ろを振り向いて神についてあまりの詳細に書き、語ることに、食傷気味になってぬきと発言。

母 現代日本の場合

「どんな人間になろうと、どんな生き方をしよう」と大いな問題では無いのである。

これをどうしたら良いのか

「集団的自我・個人的自我」の意識

「大自然の生命力・歴史 言葉業」に

生み出される存在としての人間